

決算委員会特集

令和4年度新島村歳入歳出決算一般会計

歳入43億7,876万2千円、歳出40億8,976万5千円で審議・可決された決裁を抜粋してお届けします。

総務費

ふるさと納税事業の返礼品目の増加や選定方法の確立を。

概要…現在返礼品はくさや等を中心とした品揃えで実施しており、今期7月迄の利用で約87万円の実績があった。

問 島焼酎・観光商品・その他の特産品等多種多様な品揃えにするべき、また選定方法等も確立するべきでは？

答 まだ始まったばかりの事業で、販売サイト等プラットフォームも不足している、随時拡大していく予定である。



▲広尾病院敷地内さくら寮・家族宿泊施設内の様子。

緊急医療時の上京者のため、島しょ会館の部屋を常時確保したい。

概要…島嶼地区全体（大島―小笠原）の合意により予算を分担し、島しょ会館の部屋を島嶼地区全体で常時1部屋確保している。

問 緊急搬送等の付添人等が安心して宿泊できるよう、宿泊先を多く確保できないか？

答 島しょ全体会議でも今後の検討課題としており、今後とも予算の確保等を検討し、可能な限り確保できるように努力していく。

民生費

式根島温泉憩の家大規模改修事業の進捗状況は？

概要…式根島温泉施設憩の家は老朽化により大規模改修計画が進行中である。

問 改修計画の進捗状況は？また、以前に現在の建物は手狭なので別の場所に新築するといった話もあったと思うがどうなるのか？

答 別の場所に新築するのは都の関係や土地の確保が難しく、現存の建物を大規模改修する計画に至った。現在は設計委託中であり、浴槽を約2倍に拡大、デジタルツールの導入等より快適性の向上を検討している。

衛生費

飼い主のいない猫対策事業の見直しは？

概要…飼い主のいない猫対策は捕獲した猫に不妊手術等を施し元の住処に帰す活動であり、毎年実施されている。

問 本年度の実績と今後の見直しは？また、大規模な捕獲や他島等で実施している施策を参考にすべきでは？

答 本年度の実績は全53件で内訳は不妊手術24件、墮胎手術4件、去勢手術22件、その他1件であった。また公共の敷地内に餌やり禁止等の掲示をしている。大規模な捕獲等は予算や獣医等人手不足もあるので現状では難しい。

農林水産業費

式根島養殖場の実績は？

概要…式根島養殖場では従来から主にマダイの養殖事業を行い、「式根鯛平君」のブランド名で知られている。

問 現在の在庫状況等を知りたい。

答 現在の在庫数は500尾程度で、順次稚魚を充当する予定である。

問 従来、赤字経営と聞いたが、このまま経営を存続するのか？

答 当事業は補助金を使った事業であり、事業を閉鎖する際には補助金の返還が求められる。また当事業は収支的には赤字であるが、

年間を通して鮮魚を安定供給できる等のメリットも大きく、「式根鯛平君」のキャンペーン等により徐々に知名度も上がりつつあり、今後も努力を続けたい。

商工費

サステナブルアイランド創造事業の進捗状況は？

概要…温泉ロτζジ、ガラスアートミュージアム、ふれあい農園を対象に持続可能な事業展開の見直しと施設の改修を目的とした事業で、3年間で実施する計画となっている。

問 現在の進捗状況は？

答 住民説明会、ヒアリング検討会等を経て計画パース図を作成、現在設計中である。

教育費

オンラインサービスの活用ルールは？

概要…生徒1人1台の端末機器を配布した上で、Googleクラスルームなどインターネット上のサービスを活用している。電子読書サービスも好評。

問 通学時の児童の荷物が非常に重くなっている。また長期休暇などでもサービスを利用しやすくするために、学校配布の端末だけでなく、個人所有の端末での知見の整備は進んでいるか？

答 個人所有の端末の活用は、基本的にはどのような端末でもID番号とパスワードがあれば対応は可能と聞いており、そういう使い方もあると考えている。ただ

し、不具合なども出てくる可能性もある。ICT教育推進協議会に投げかけてルールづくりをしていきたい。

村民体育大会の開催は今後どうなる？

概要…毎年開催されていた村民体育大会は、コロナ禍もあり今年を含め長期期間開催していない。

問 高齢化が進むなか、村民体育大会の開催は今後難しいのではないかと？

答 そのことについては以前から検討されているが、高齢化がますます顕著になることは明らかなので、規模の縮小なり、開催方法等を見直さなければならなくなると思う。しかし、我々だけで決めることではないと思うので、広く住民の意見を聞いたうえで検討していきたい。



◀テクノロジー体験ラボの10月22日親子プログラミング体験特別企画での一幕。小学校1年生でもタブレット端末を使って、センサーやスイッチをきっかけにモーターを自在に動かすプログラムができました。
※テクノロジー体験ラボは、東京都・新島村が主催で、新島・式根島の両島でおよそ1ヶ月にわたり、最先端のデジタル創作ツールを無料で楽しめる場でした。